

宿

三年

画数 11
筆順
ク
シ
ユ
ク

ヤド・ヤドリ

宿

成り立ち



「人」の意味の「イ」と、人がふとんにねている形を表した「百」と、「家」の形を表した「ム」とを組み合わせて作った字です。

「人が家にねる（やどる）」ことをあらわした字です。家に「泊まる」ことです。

「旅人が泊まる家」といういみにもつかれます。例宿屋、投宿。

「旅人を泊める家がたくさんある町」といういみにもつかれます。例宿場。

また、「長い間もちつづけて来た」願いのことを「宿願」と言いますが、それは「長い間に「宿」ついていた願い」といういみです。

使い方

▽朝早く起きると、草が露を宿しているのが見られます。宿場町というのは、宿屋がたくさん集まっている町です。むかしは、交通が不便でしたから、街道のあちこちに宿屋がたくさんありました。旅人は、こうした宿屋で、一夜の宿を借りたのです。

熟語例

▽宿屋（旅人を泊めるのを商売にしている家。旅館はたごや）

▽投宿（宿屋に泊まること。「今夜は、このはたごやに投宿することしよう」というふうには、つかいません。）

▽合宿（スポーツや勉強などを、泊まりがけで行うこと。）

▽寄宿（他人の家や寮などに泊まって生活すること。）

「むかし、おとうさんは、おじさんの家に寄宿して、大学へ通っていたそうだ」などというふうには、つかいません。）

▽宿願（長い間もちつづけて来た願い。「とうとう宿願をはたした」などというふうには、つかいません。）

使い方

▽ぼくは市役所の近所に住んでいます。住所は、本町一ノ二ノ五です。

▽わたしの長所は人にしんせつにすることがすきなことです。短所はものごとにあきやすいことです。

熟語例

▽役所（「役人がしごとをする所」といういみの字。公務員が公務をしよりするたてもの）

▽近所（「近い所」といういみのことばです。「むこう三軒両どなり」のごく近い所から、「近所の町」というつかい方までいろいろあります。）

▽住所（「住んでいる所」といういみのことば。多く「住んでいる土地の町名地番」のいみにつかいます。）

▽長所（「長じている所」といういみのことば。すぐれている所。美点ともいいます。）

▽短所（「おとっている所」といういみ。欠点）

▽名所（「有名な所」といういみのことば。けしきのうつくしいことば有名な土地のことをいいます。）

▽所見（「見た所」といういみのことばですが、「見たけつかの意見「かんがえ」といういみにつかいます。）

所

三年

画数 8
筆順
ク
シ
ヨ

ヤド 所

成り立ち



木を切るどうぐの「斧」の形をあらわした「斤」と、コーンコーンという木を切る音をあらわした「戸」とを組み合わせて作った字で、「斧をつかって木を切る音」をあらわした字です。

木を切る人のすがたはみえなくても、木を切る音で、人のいるところがわかります。それで、「木を切る音」をあらわした「所」という字で、「ところ」といういみをあらわしました。